

つな
未来へ、繋ぐ!!しまや
島谷 ひろのり

令和7年第3回日野市議会定例会が9月1日から10月8日まで開催されました。市長より提出された議案(令和7年度日野市一般会計補正予算含む)や、議決責任を果たす姿勢への変革を目指す議会改革の一環で、一般会計及び特別会計特別委員会の審議に9日間(従来の手法より5日間増)とする日程とし、活発な議論が交わされました。

本定例会での審議事項や、一般質問で『島谷ひろのり』がピックアップした内容、トピックスも含め、以下、主な内容をご報告させていただきます。

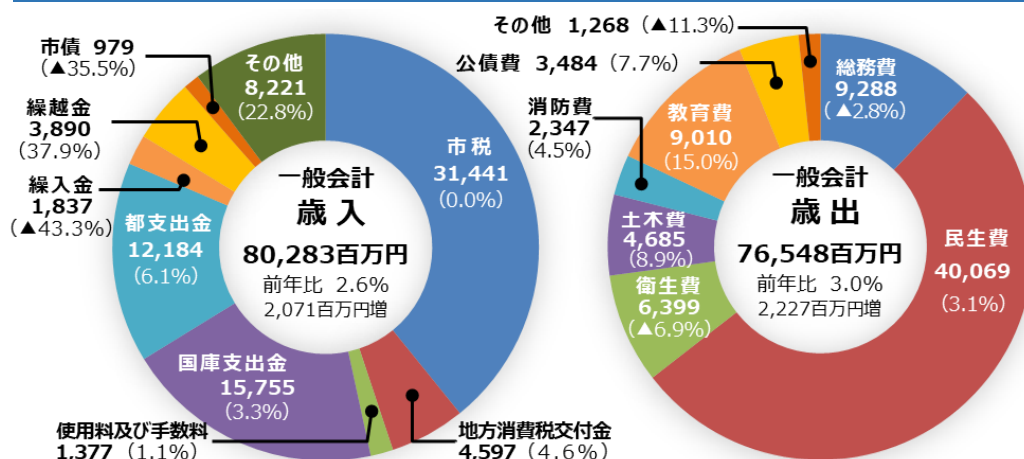
■令和7年第3回定例会 議案等審議結果についての詳細は日野市議会HPへ
<https://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1029599.html> 日野市HP ページID 1029599



プロフィール

- 出身: 青森県八戸市
- 生年月日: 昭和 55 年 2 月 13 日(45 歳・申年)
- 現住所: 日野市旭が丘 2 丁目
- 経歴: 2018 年 日野市議会議員(初当選)
2022 年 日野市議会議員(2 期目当選)
市議会会派「チームみらい」代表
- 役職: 日野市バレーボール連盟 会長
- 趣味: バレーボール、ランニング、山登り

I. 令和6年度日野市一般会計、及び、特別会計決算特別委員会の審議・評決について



■日野市特別会計決算 単位: 百万円

事業名	歳出額	内、一般会計からの繰入金
国民健康保険	16,412 (▲3.6)	2,214 (▲8.8)
土地区画整理事業	2,310 (17.2)	1,323 (1.7)
介護保険	16,316 (2.9)	2,413 (1.7)
後期高齢者医療	5,743 (5.7)	2,598 (5.0)
市立病院事業	10,380 (8.1)	1,070 (12.6)
下水道事業	5,240 (▲5.5)	789 (▲20.2)

注 () 内前年度増減率

認定 【会派チームみらい意見(抜粋)】令和6年度決算、歳入全体約802億円(前年度比2.6%増)に対し、歳出全般約766億円(前年度比3.0%増)。性質別でも人件費・物件費ともに前年度までの減少傾向が一転、増加傾向に遷移した状況は、予断を許さない財政運営であると再認識します。加えて、歳入の強化は市職員でしかできない「挑戦」であり、庁内全体で積極的に向き合うことが急務です。今後、「スクラップ」または合理化の方向性を提示できなければ日野市は持ちません。苦しい市民生活の現状も注視し、多くの市民が納得する政策判断と予算配置に質疑・討論を活かして頂くよう要望します。

II. 財政非常事態宣言の解除について(令和7年8月28日の発表)

日野市は、2025年(令和7年)8月28日をもって財政非常事態宣言を解除しました。

この宣言は、2020年(令和2年)2月に市税収入の悪化や歳出予算の増加による大幅な財源不足が発生したことを受けて発出されたものです。解除に至った主な理由は以下の通りです。

- 市税収入や国からの交付金などの歳入増加
- 歳出抑制などの取り組みによる収支改善と基金の増加
- 経常収支比率が継続して目標値を達成していること
- 財政非常事態宣言の継続による負の影響(市民意識や職員採用など)が深刻化していたこと

日野市HP(QRコード) →
■財政非常事態宣言
解除について



日野市は「財政危機を脱したと判断したが、財政面での課題がなくなったわけではない」とのスタンスで、今後も、持続可能な財政運営に向けて、歳入拡大や歳出抑制などの行財政改革に引き続き取り組んでいく方針です。この件については、重点課題として島谷ひろのりが一般質問で質しました。(裏面を参照)

Ⅲ. 島谷ひろのり一般質問（概要）

〔1〕財政非常事態宣言で、日野市の“自浄努力”は発揮されたのか？総括を問う



□質問主旨 財政健全化のプロセスが見えず、市民も職員自身も変化を感じたと思えない状況に強い危機感を持っております。また、市民生活は苦しいのに？市の財政が潤ってきた？と誤解を招かない注意喚起も含め、日野市が果たすべき“自浄努力とは？”をテーマに、今後の中期財政運営方針や総合戦略の意図を質しました。

自浄努力とは…「自助努力」と「自浄作用」という二つの言葉を掛け合わせた言葉
組織自身が問題を解決し、より良い状態を目指すための取り組み全般と、定義

「自助努力」⇒他者に頼らず、自分の力で困難を乗り越えようとする努力

「自浄作用」⇒問題が発生した際に、自ら原因を見つけて解決に向かうプロセス

●島谷ひろのり議員⇒財政非常事態宣言の解除に至った市の考え、及び、この財政再建計画期間(3年目)で日野市として発揮できた“自浄努力”について、自己評価・総括を問う。

◆日野市 「日野市財政再建方針・第6次行財政改革大綱」で4つの財政指標を掲げ、数値的目標を定めた。

指標① 普通会計における財政調整基金残高として、令和10年度当初予算編成後(推計値)で35.7億円の確保を目標
⇒令和7年度当初予算編成後の時点で23.2億円となっており約12.5億円届いていないが、令和5、6年度と実質単年度収支が黒字となった。基金増額傾向はある程度継続。⇒単に予算編成時の見積り(推計)精度が悪かっただけでは？

指標② 普通会計における経常収支比率令和9年度決算時点で95%以下維持を目標

⇒令和6年度決算時点で94.9%。辛くも達成。

⇒経常収支比率95%は「硬直化」と一般的に評価されるが大丈夫？

指標③ 公債費負担比率として令和9年度決算時点で8%台を維持し、かつプライマリーバランス黒字を目標

⇒令和6年度決算で7.1%かつプライマリーバランスが黒字で達成。

⇒本来対応すべき投資を、将来のツケに回しただけ？

指標④ 標準財政規模に対する人件費比率が令和9年度決算時点で28.0%以下とすることを想定

⇒令和6年度決算32.1%と約4.1%超過の目標未達だが、社会全体で人件費の上昇が続いている。改善には長期的な対応要であり、目標値を見直す。⇒令和7年度予算案一人当たり歳出額多摩26市中最下位が日野市。バランスは？

他、庁内の動きが改善された点として、国や都の補助金といった特定財源を活用する姿勢が強まったほか、事業見直しについて行政評価などを通して継続して行い、行政運営の効率的向上を図ってきた。

●島谷ひろのり議員⇒仮に特定財源が「無くなった」としても続けるべき事業なのか？

優先順位の精査、市の一般財源で続ける場合の合理化案の提示など、「早期に市民へ示す」という組織変革まで踏み込んでほしい。改めて、日野市が発揮すべき“自浄努力”に向き合った「中期財政運営方針」及び「総合戦略の改定」を求める！



また、別の問題として予算時(推計)の財政調整基金依存度が高い！にも関わらず、1年半後の決算「前年度繰越金(実質収支額)が想定より多額」となっている事実が挙げられる。「基金不足は推計値に踊らされている？」との疑義に説明責任が果たせていない。市民からの信頼回復を第一義とする真摯な姿勢も忘れずに変革を求む。

〔2〕健康経営優良法人の認定を目標に、日野市も踏み出そう！

□質問主旨 健康経営とは、企業が従業員の健康管理を経営的な視点から捉え、戦略的に実践する経営手法です。従業員の健康を増進することで、生産性の向上、離職率の低下などにもつながります。

●島谷ひろのり議員⇒「やりがい・働きがい」の追求である健康経営に向き合う意義について、日野市の見解を問う。

◆日野市 職員の健康保持・増進の取組は、組織の活性化や生産性の向上に寄与するものであり、経営的視点で考えることは重要。健康経営優良法人の認定には時間を要するが、まずは認定に拘らず働きやすい職場環境づくりに努めたい。

●島谷ひろのり議員⇒何かしらメンタル不調を抱え働いている状態（プレゼンティーズム）による経済損失が社会全体で約7.3兆円(GDP1.1%相当)と試算する研究もある。「健康」と「やりがい」を追求する組織へと変革し、それを職員が個々に実感しつつ進めていくことが重要。健康経営に向き合い、好循環を生み出すことに期待する。

市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

島谷ひろのり相談室

TEL:042-581-8509 FAX:042-585-6005

E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com

島谷ひろのりの
活動報告はこちら！



編集・発行：島谷ひろのり後援会

住所：東京都日野市富士町1番地 TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133



豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩1分です。
どうぞお気軽にお立ち寄りください。